

## 安全データシート

作成 2022年08月19日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: FFPE DNA Extraction kit v2	
製品コード	: C20000032	
	Kit の構成	①FFPE extraction buffer v2 ②Cross-link buffer ③ChIP DNA Binding buffer ④Precipitant ⑤DNA wash buffer ⑥DNA Elution buffer ⑦DiaPure DNA column with collection tube
会社名	: 株式会社ダイアジェノード	
住所	: 富山県富山市荒川1丁目1番25号	
電話番号	: 076-482-3110	
FAX 番号	: 076-482-3211	

## 2. 危険有害性の要約

## ①FFPE extraction buffer v2 (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

GHS 分類	: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 特定標的臓器毒性・単回ばく露 水生環境急性有害性	: 区分 2A : 区分 2 (中枢神経系) : 区分 3
--------	--------------------------------------------------	-------------------------------------

絵表示

注意喚起語



警告

危険有害性情報

	: H319 強い眼刺激 H371 中枢神経系の障害のおそれ H402 水生生物に有害
注意書き 【安全対策】	P260 粉塵またはミスト、蒸気、スプレーの吸入しないこと。 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】	P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
【保管】	P405 施錠して保管すること。
【廃棄】	P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## ③ChIP DNA Binding buffer (グアニジン塩酸塩) について記載

GHS 分類	: 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2 : 区分 2A
--------	--------------------------------	-------------------

絵表示

注意喚起語



警告

危険有害性情報

: H315 皮膚刺激 H319 強い眼刺激
---------------------------

注意書き 【安全対策】

P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
-------------------------------

- 【応急措置】
- P280 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 P302+P352 皮膚に付いた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 P337+P313 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 P362+P364 汚染された衣服を脱ぐこと。再利用する場合には、洗濯すること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

#### ④Precipitant (酢酸ナトリウム)について記載

- GHS 分類 : 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2B  
 注意喚起語 : 警告  
 危険有害性情報 : H320 眼刺激  
 注意書き 【安全対策】 P264 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。  
 【応急措置】 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

### 3. 組成及び成分情報

#### ①FFPE extraction buffer v2

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
ドデシル硫酸ナトリウム	≦2% (w/w)	C12H25SO4Na	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

#### ②Cross-link buffer、⑤DNA wash buffer、⑥DNA Elution buffer

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

#### ③ChIP DNA Binding buffer

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
グアニジン塩酸塩	≦30%(w/w)	NH:C(NH2)2 · HCl	50-01-1	グアニジン塩酸塩
trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

#### ④Precipitant

化学物質・混合物 : 混合物

化学名又は一般名	濃度	化学特性(化学式)	CAS 番号	危険有害成分
酢酸ナトリウム	≦30%(w/w)	CH3COONa	127-09-3	酢酸ナトリウム
trade secret	非開示	非開示	非開示	特になし

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
- 目に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。  
 異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : データなし

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 噴霧水、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤  
 使ってはならない消火剤 : 特になし

火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 漏出した液は、ウェス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼした所を完全に拭きとる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 特になし
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。ガスを吸入しないこと。 適切な保護具を着用する。 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 環境への放出を避けること。
接触回避	: データなし
保管	
適切な保管条件	: マニュアルを参考にすること。
技術的対策	: 特になし
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」の項を参照
安全な容器包装材料	: 高密度ポリエチレン、ポリプロピレン

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	
ACGIH(TLV)	: データなし
日本産業衛生学会	: 設定されていない
設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 適切な保護手袋
目の保護具	: 適切な保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護作業衣、保護靴

## 9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）	: 無色澄明な液体	
臭い	: ①② :無臭	③④⑤⑥ :独特な臭い
融点・凝固点	: データなし	
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし	

可燃性	: データなし
燃焼又は爆発範囲(上限・下限)	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水と混合する
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び $\nu$ 又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱
混触禁止物質	: ①③④ :酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

## 11. 有害性情報

### ①FFPE extraction buffer v2 (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

急性毒性	: 経口 $LD_{50} > 5,000mg/kg$	区分に該当しない
	: 経皮 $,LD_{50} > 5,000mg/kg$	区分に該当しない
	: 吸入 データなし	
皮膚腐食性・刺激性	: 「皮膚刺激: 区分2 含有量 <10%」	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「重篤な眼の損傷: 区分1 含有量<3%」	区分2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性: データなし	
	: 皮膚感作性 : 「皮膚感作性試験: 陰性」	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 「生殖細胞変異原性試験: 陰性」	区分に該当しない
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: 「中枢神経系の障害: 区分1 含有量 <10%」	区分2 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: 「長期又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ: 区分2 含有量 <10%」	区分に該当しない
誤えん有害性	: データなし	

### ③ChIP DNA Binding buffer (グアニジン塩酸塩) について記載

急性毒性	: 経口 $LD_{50} > 2,000mg/kg$	区分に該当しない
	: 経皮 $LD_{50} > 2,000mg/kg$	区分に該当しない
	: 吸入 $LC_{50} > 5mg/L$	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	: 「皮膚刺激」	区分2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 「強い眼刺激」	区分2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし	
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データなし	
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: データなし	
誤えん有害性	: データなし	

### ④Precipitant (酢酸ナトリウム)について記載

急性毒性	: データなし	
皮膚腐食性・刺激性	: データなし	
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 軽度の眼刺激	区分2B

呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データなし
特定標的臓器毒性・反復ばく露	: データなし
誤えん有害性	: データなし

## 12. 環境影響情報

### ①FFPE extraction buffer v2 (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

生態毒性	: 甲殻類(アカルチア) EC <sub>50</sub> /LC <sub>50</sub> =0.12mg/L /96H 水生環境急性有害性: 区分 3
残留性・分解性	: 急速分解性が有り (85.0% by BOD、99.3% by TOC)
生体蓄積性	: データなし 水生環境慢性有害性: 区分に該当しない
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

### ③ChIP DNA Binding buffer (グアニジン塩酸塩) について記載

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

### ④Precipitant (酢酸ナトリウム) について記載

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
海洋汚染物質	: 非該当
国際規制	
陸上規制情報	: ADR/RID 規制されていない
海上規制情報	: IMO 規制されていない
航空規制情報	: ICAO/IATA 規制されていない
国内規制	
陸上規制情報	: 規制なし
海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
特別な安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

### ドデシル硫酸ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法(化管法)	: 管理 No.275 第1種指定化学物質

### グアニジン塩酸塩について記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法(化管法)	: 非該当

### 酢酸ナトリウムについて記載

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質管理促進法(化管法)	: 非該当

## 16. その他の情報

引用 NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)  
[http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip\\_search/systemTop](http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)  
経済産業省 GHS 混合物分類判定システム (ver4.0)  
政府による GHS 分類結果 (令和元年度分) のインポート用テキストファイル  
原料試薬供給先から提供された SDS 等

- \* 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。
- \* 新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
- \* 記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- \* 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください